



若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

<今、鳥をめぐる学問がアツいらしい>

鳥もことばを持ち、文法が存在する(かもしれない)ことが話題となっています。鈴木俊貴『僕には鳥の言葉がわかる』の出版は、鳥とは無縁の生活を送る日吉の英語教員(=わたし)にとっても、大きな衝撃でした。少し前だと、川上和人『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ』が書店で平積みになっていました。さらに来往舎を歩いていると、同僚から『鳥たちのフランス文学』をプレゼントされました。何やら、鳥をめぐる知の世界はガヤガヤと賑わっている様子です。5月の青空に元気をもらいつつ、鳥について、鳥に関わる本やキーワードについて、あれこれトークしてみたいと思います。鳥愛に溢れる方から、鳥とは無縁の生活をされている方まで、幅広く来訪者を歓迎します!

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1~2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です!

鳥たちの来襲? 歌声・かたち・移動

5月 30日(金)

13:30 ~

14:30 (予定)

※途中入退室可

場所: 日吉キャンパス
来往舎 1階 103/104
対象: 塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します!)

★事前登録不要★

問い合わせ:

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp